

製品名: Rad21 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21590**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:72kD;Observed MW:130kD

抗原情報

遺伝子名	RAD21
別名	RAD21;HR21;KIAA0078;NXP1;Double-strand-break repair protein rad21 homolog;hHR21;Nuclear matrix protein 1;NXP-1;SCC1 homolog
遺伝子 ID	5885.0
SwissProt ID	O60216
免疫原	ヒト Rad21 の合成ペプチド

背景

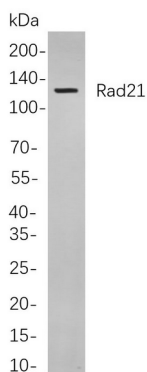
細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、分裂酵母 (Schizosaccharomyces pombe) の rad21 遺伝子産物と

非常に類似している。rad21 は、DNA 二本鎖切断の修復、および有糸分裂中の染色分体接着に関与する遺伝子である。このタンパク質は核リン酸化タンパク質であり、細胞周期 M 期に過剰リン酸化される。このタンパク質がセントロメア領域において有糸分裂クロマチンと高度に制御された形で結合していることは、有糸分裂細胞における姉妹染色分体接着における役割を示唆している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

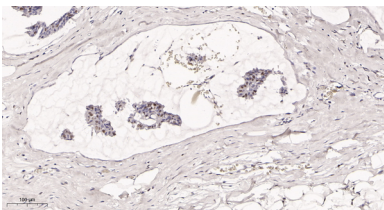
研究分野

-

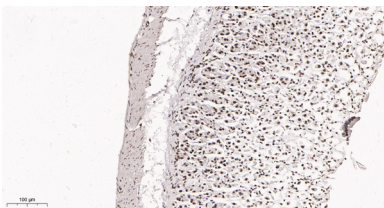
画像データ



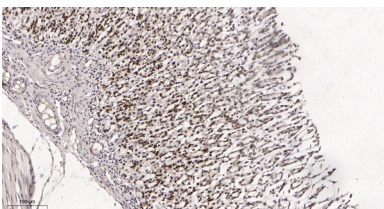
Rad21 Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。1、Rad21 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス胃組織の免疫組織化学分析。1、Rad21 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット胃組織の免疫組織化学分析。1、Rad21 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。